

4期目に向けての 2つの思い

1 県議の政務活動費廃止をします

- ・1人年額**360万円**
(個人336万円、会派24万円)支給。
- ・阪口は、政務活動費の受け取りを**辞退**しています。

阪口は今までに、
約3,000万円
県に返還

2 税金の無駄遣いになる事業の見直し

奈良県内における政治意識調査の中止を求めた

- ・調査項目に投票の秘密・思想の自由を侵害する項目がある。
- ・今までに要した費用について損害賠償請求の提訴をしました。



関西テレビ報道ランナー放映

複数の県立高等学校の工事の随意契約違反を指摘

- ・県教育委員会は、不適正な契約を認め、関係者を処分しました。
- ・損害賠償請求を求め係争中。

■自宅
〒630-0134 生駒市あすか野北3-1-3

■ホームページ
<http://sakagutitamotu.jp/>



■Twitter
[@sakagutit](#)



■Facebook
[阪口保](#)



討議資料

政党・組織の支援を受けず、無所属で活動します。

一切の寄付、献金も受けていません。

税金の無駄遣いをなくします。

奈良県の借金は、約1兆円あり、
借金を減らし、税の無駄遣いをなくして行きます。

プロフィール

- ・文教くらし委員会委員 県議3期
- ・少子化対策・女性の活躍促進特別委員会副委員長
- ・関西広域連合議會議員
- ・殺処分ゼロをめざす奈良県議会議員連盟会長
- ・元社会科教諭
- ・見張り番・生駒代表幹事(オンブズマン)
- ・三段跳び大阪府総合体育大会優勝

奈良県議会議員

阪口 保

私の主な施策

1

高山地区第2工区の開発事業の推進

生駒市と連携して取り組みます。
県の開発許可が必要です。



2

国道163号線(清滝生駒道路)の整備促進

道路整備により関西文化学術都市に繋がります。



3

辻町インターチェンジの早期着工

早急な整備を求めて、県議会で4回質問。
交通渋滞の緩和に繋がりますので、県の積極的な取り組みが必要です。



4

公立学校(小・中・高)の教育環境充実に努めます

教員の経験を生かし、県文教くらし委員会で教育環境の充実、教員の働き方の改革を提言。

令和4年奈良高校を視察。
今までに、北大和高校、
生駒高校、上中学、
あすか野小学校等を視察。



5

自然環境の保全

メガソーラーの設置規制の条例制定を求めています。
(大規模な山林伐採を伴い土砂災害等のリスクがあります。)

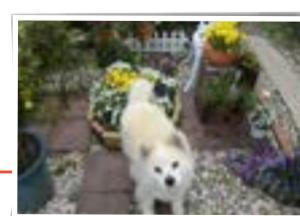
地球温暖化の防止に取り組みます。



6

動物の殺処分を減らす取り組みをします。

不妊手術の推進
TNR活動の推進
動物愛護に関する啓発活動の推進



7

高齢者福祉の推進

(住み慣れた地域で安心して暮らし続ける為に)
地域包括支援センターの機能強化。
介護サービス・高齢者福祉対策の充実
在宅医療・介護の連携の推進
高齢者へのサポート体制の充実



8

少子高齢化・女性の活躍促進が必要

市町村と連携し、待機児童の解消
延長保育、休日保育、学童保育など多様なサービスが必要です。



4年間の主な取り組みと成果

課題	取り組み内容	成果
1. 県議政務活動費の廃止	・見張り番・生駒で県議の政務活動費の返還訴訟 ・見張り番・生駒で政務活動費廃止の直接請求	・議員43人の内、7人が政務活動を辞退。 辞退者が増加しました。
2. Aメガソーラー設置規制の条例の制定を求める。 B山添村のメガソーラーの設置に反対	・県議会で早急に実効性のある規制の為の条例制定を求める ・山添村のメガソーラーについては、林地開発許可を出さないように求める	・本年度中にガイドラインより実効性の高い条例制定案を県が提案予定。 ・知事は、地元の開発の合意が必要との認識。
3. 県立高等学校の工事の随意契約違反	・県議会、文教くらし委員会で追及(工事代金が高くなる) ・高くなった工事代金の返還を求め提訴	・県教育委員会は、不適正な分割を認め、教育長が月給10分の1の自主返納、校長を文書勧告処分、会計事務・契約事務のマニュアル作成を作る。 ・改善を約束
4. 辻町インターチェンジの着工	・市内の交通渋滞の解消の為に、早急な工事着工を求める。	・工事着工に向けて課題の解決が進んでいます。
5. 犬、猫の殺処分を減らす	・殺処分ゼロをめざす奈良県議会議員連盟が発足。 (議員連盟で 殺処分を減らす取り組みを実行)	・年々、殺処分数が減少。 ・ふるさと奈良県応援寄附金の寄附項目(動物愛護の推進)の設置。
6. 県職員の超過勤務の縮減とサービス残業をなくす	・35歳の県職員の過労自殺を追及 ・県議会で複数回、県職員の超過勤務、サービス残業(手当がつかない)を追及	・超過勤務の縮減がすすみ、サービス残業がなくなっています。 ・公務災害の認定。裁判で損害賠償が確定しました(県は控訴せず)。
7. 関西広域連合議会(奈良県代表)	・定例会で6回質問	・リニア中間駅について ・プラスチックゴミについて

1

奈良県議会政務活動費の廃止(1人360万円)

- 令和3年度政務活動費の予算1億5,480万円計上(議員43人)
廃止すれば、議員12人を削減したと同じ効果があります。(議員報酬約1,200万円)
- 依然として、不明朗な支出が判明しています。

関西テレビ
報道ランナー放映



4

辻町インターチェンジの着工

- 市内の交通渋滞の解消の為に、早期着工を求めていきます。

5

犬、猫の殺処分を減らす

阪口の呼びかけで超党派の県議20人で発足(殺処分ゼロを目指す県議会議員連盟会長に就任)

- 県動物愛護センター視察
- 動物愛護団体との意見交換会
- 知事と面談し要望書(殺処分ゼロをめざす施策の推進を求める)の提出



2

A: メガソーラー規制の条例の制定を求める B: 山添村のメガソーラーの設置に反対

- 知事に山添村のメガソーラー反対の署名を提出
署名集めに協力(県内約1万人の反対署名を知事に提出)
- 知事と山添村のメガソーラー反対住民の方との面談を設定(阪口も同席)。



3

県立高等学校の工事の随意契約違反

複数の学校で工事の随意契約が繰り返されていました。

- 工事代金が250万円を越える時は、一般競争入札が必要、工事代金を250万円以下にし、分割発注を行い競争性のない随意契約違反を行っていました。



6

県職員の超過勤務の縮減とサービス残業をなくす

- 平成30年に県職員の過労自死を取り上げる。公務災害の認定と裁判に協力(令和4年6月奈良地方裁判所は、県に損害賠償を命ずる判決)

- 定例会で奈良地方裁判所の判決を受けて、知事が職員の自死をどのように受け止めているのか。また、働き方改革について質しました。

7

関西広域連合議会

- リニア中間駅は、関西文化学術研究都市の発展も踏まえ、関西全体に経済効果が波及する位置にすべきであると発言しました。